

学部長からのメッセージ

～「学生が輝く学部、人が羽ばたく学部」～

私の専門は国際法です。なかでも国連のような国家が集まって作った国際機構を中心に研究してまいりました。国際機構を支えているのは事務局で働く国際公務員と呼ばれる人たちです。彼らがいなければ、国連のような巨大な組織も活動できません。組織を動かすには人が重要なのです。

さて、岡山大学法学部の強みの1つは、「きめ細かい教育」です。入学から卒業まで少人数の演習（ゼミ）が開講され、1学年200名を越す多くの学生1人1人に対して、常に必ず1名の教員が指導教員となります。教員間の連携もスムーズで、学生もどの先生にも相談ができるようなアットホームな雰囲気があります。

岡山大学法学部のもう1つの強みは、「グローバル化」です。法学部の学生は、英語の学習にも熱心で、留学する学生の数も大学全体でトップレベルです。こうした学生のニーズに応えるべく、「グローバル法政科目群」を全学生が修めるように設定されています。将来、官公庁や民間企業、あるいは法曹などいかなる進路に進も

うとも、こうしたグローバルな知見を身に着けた厚みのある人材を常に輩出していることがわが法学部の強みです。

法学部で学習する法学や政治学などの内容は、どの大学でもたいてい同じものです。問題は、それを教えてくれる教員の熱意、また、共に学ぶ刺激を与え合う仲間です。岡山大学法学部をひとことで表すと、私は自信を持って次のようにいえます。

「学生が輝く学部、人が羽ばたく学部」

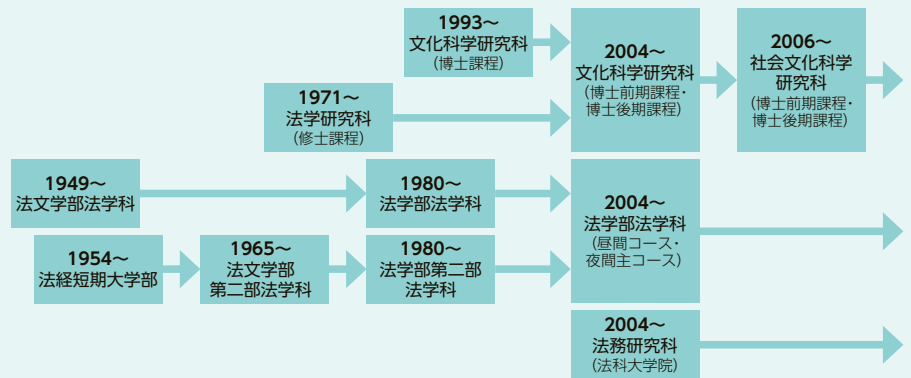
冒頭で述べたように組織を動かすには人が重要です。わが法学部の財産は人、その中心は紛れもなく学生です。岡山大学法学部では、学生が輝き、卒業後は立派に社会で羽ばたいています。教育・研究に励む教員もみな学界や社会で羽ばたいています。

こういう人たちに囲まれて学生生活を過ごしたいと思いませんか。岡山大学法学部での4年間、後悔はさせません。ぜひ私たちと一緒に学びましょう！

岡山大学法学部長
黒神 直純

岡山大学法学部の沿革

岡山大学法学部の歴史は、岡山大学の創立に際し、中四国で初めての法学科として法文学部法学科が設立された1949年に始まります。1980年に法文学部の改組が行われ、法学科が分離し、現在の法学部になりました。法文学部法学科設立以来、一貫して法学・政治学の専門教育の拠点として、官界、実業界、教育界等の多方面に数多くの人材を輩出し、とりわけ法曹（裁判官、検察官、弁護士）の輩出は中四国では最多を誇ります。その後、2004年に大学院法務研究科が設置された際に、第二部法学科が夜間主コースに改組され、現在に至っています。



専門性・情報力・行動力

岡山大学法学部では、この3つを備え、グローバルに活躍できる人材の育成を目指しています。

教育内容・特色

法学・政治学の学びを通じて、現実社会で生起する諸問題に対して柔軟かつ適切な判断を行うことのできる、以下の資質を備えた人材を育成します。

① 人間性に富む豊かな教養【教養】

グローバル化が進む現代社会に対する深い理解とともに、国家、行政、企業、学校、家庭その他様々な社会集団、社会活動に起因する諸問題に対して、柔軟かつ適正な判断を行うための論理力、分析力、創造力を身に付け、多角的な視野から柔軟かつ適正な判断ができる。

② リーガル・マインドの涵養【専門性】

法や政治等に関する実践的課題に対応できる法的思考能力（リーガル・マインド）を身に付け、持続可能な社会の実現への貢献を目指して、具体的な問題に解決策を提示することができる。

③ 情報を科学的に分析する能力【情報力】

グローバル化が進む現代社会の諸問題について、歴史のおよび国際的な視野から多角的に捉えるとともに、法学および政治学等の知識を活用して科学的に分析、判断し、取り組むべき具体的な課題を明らかにすることができる。

④ コミュニケーション能力【行動力】

多様性や包摂性といった共生・共創のための国際感覚とともに、グローバル化および情報化する社会で多様な人々と協働して活躍できるコミュニケーション能力を身に付け、持続可能な社会の実現に向けて、自らの意見を論理的に展開し、的確に行動することができる。

⑤ 課題を発見し、自ら判断し解決しようとする意欲と能力【自己実現力】

持続可能な社会の実現に向けて、現代社会に生起する諸事象から法学および政治学に関連する課題を発見し、生涯にわたって自己と他者または社会とのつながりの中で調和を保ちつつ、自ら判断し解決しようとする姿勢と解決のための基礎的な能力を身に付けている。

求める学生

高校までの学習を通じて形成された学力を重視しつつ、社会に対する広範な関心を持ち、幅広い視点から柔軟にものごとを考えようとする学生や、世界の動きに関心があり、グローバルな視点を持って活躍したいという意欲のある学生の入学を求めています。

また、将来の職業との関係では、裁判官、検察官、弁護士などの法律専門職や公務員、民間企業などで活躍することを志望する学生を歓迎します。

入学後の学修のため、国語・外国語の2教科を中心に読解力、思考力、表現力を養い、まんべんなく基礎学力を積み上げ、着実に学習する態度を身につけていることが望まれます。